

海老川水系の成り立ち

夏見台地の成り立ち

出典) 飛ノ台史跡公園博物館資料



約1万年前



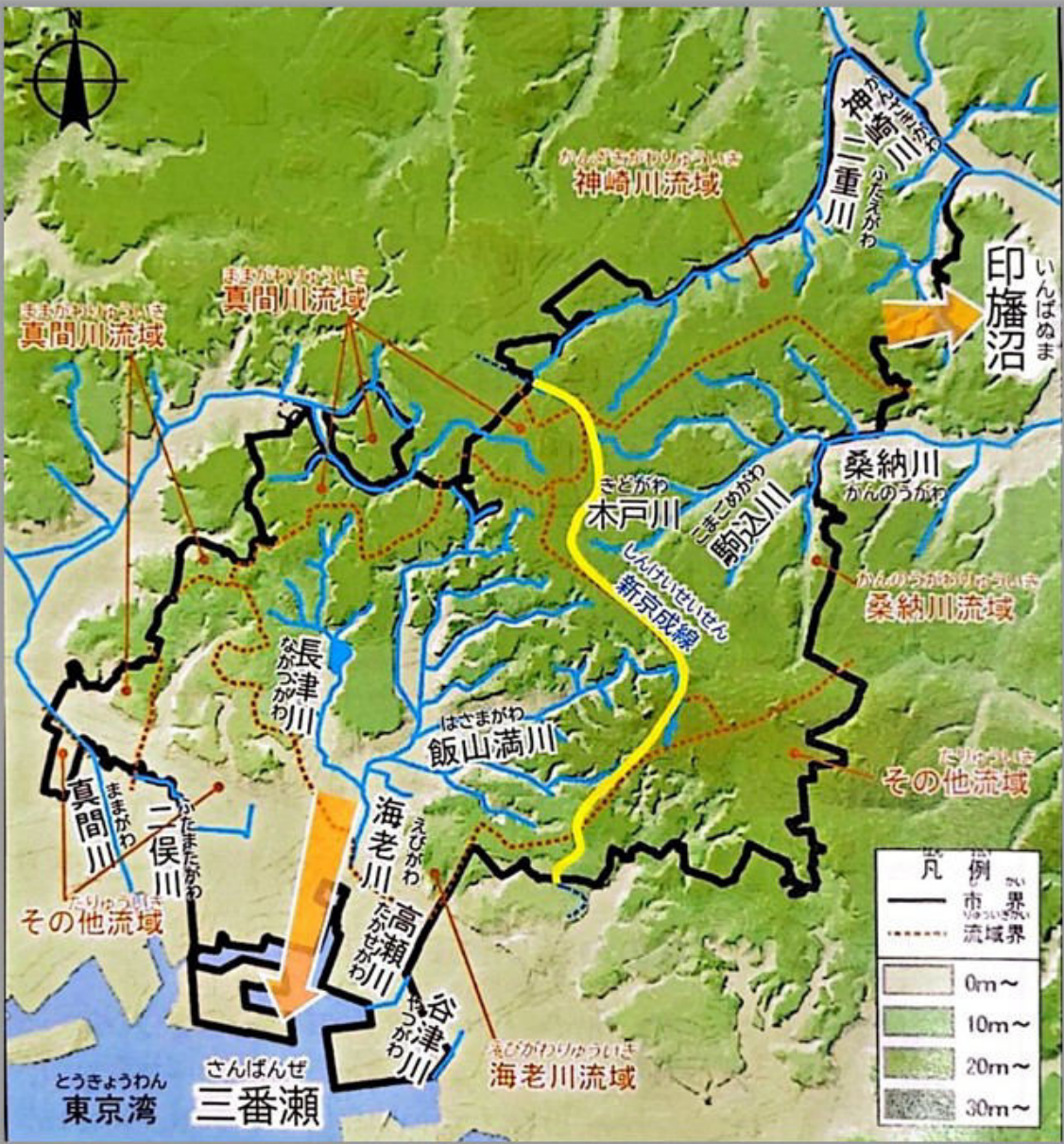
約7千年前
縄文海進のピーク



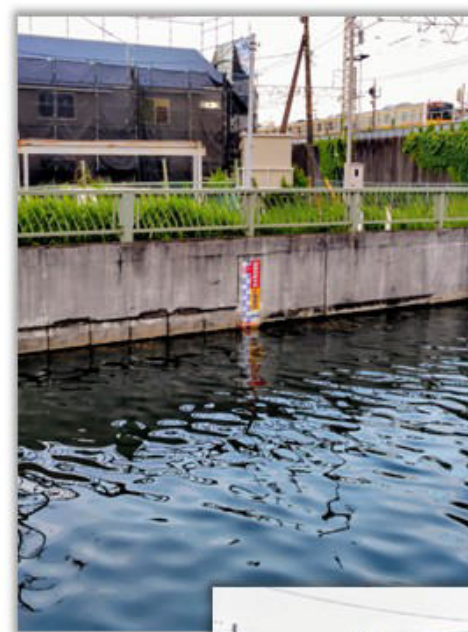
約600年前 (室町時代)
～ 昭和初期

現在の船橋の地形
主な水系と河川

出典) 生物多様性ふなばし戦略



海老川ってどんな川？



感潮河川





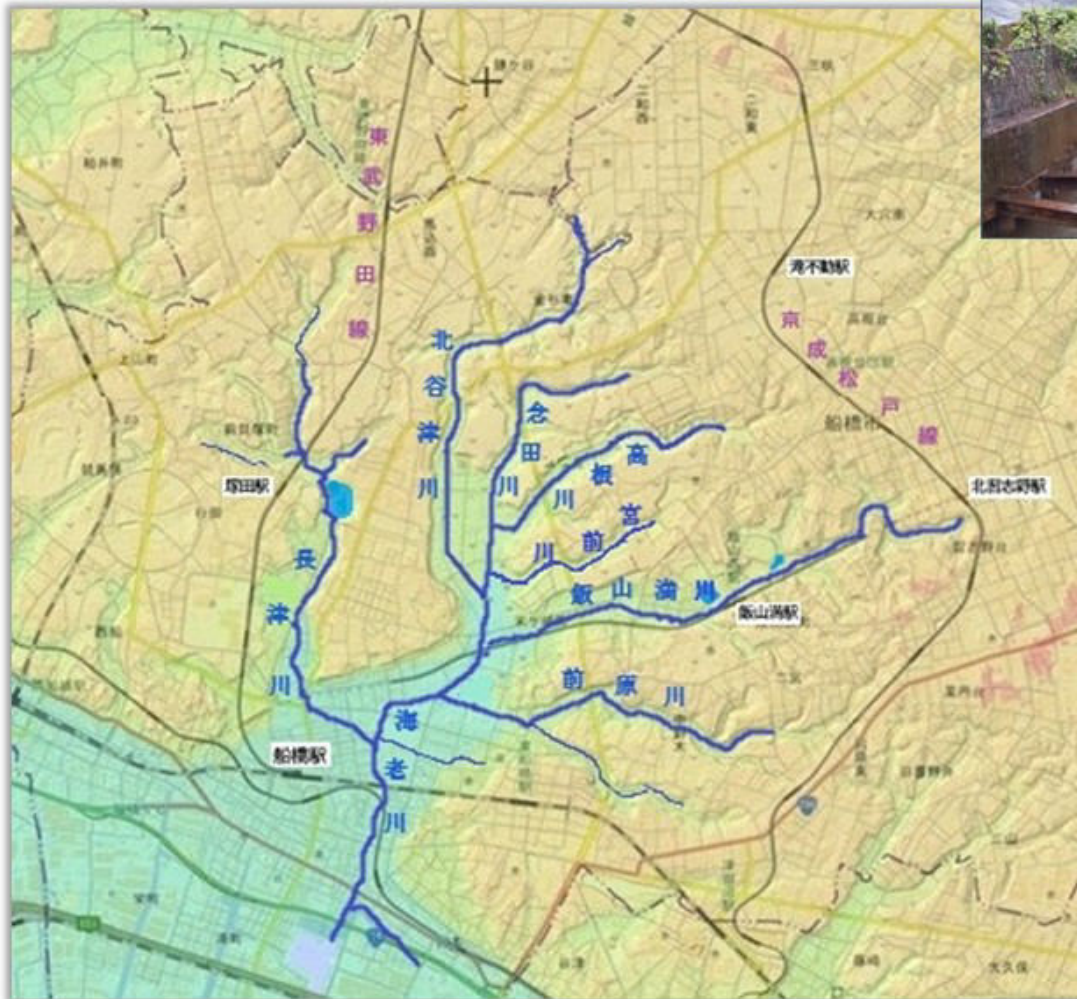
北谷津川



長津川



海老川



飯山満川



前原川

海老川水系と人々の暮らし

夏見方面を臨む

昭和44年（1969年）



写真 船橋市農協二十年のあゆみ



海老川水系は
船橋の穀倉地帯だった

湿地は田んぼ

台地は畑

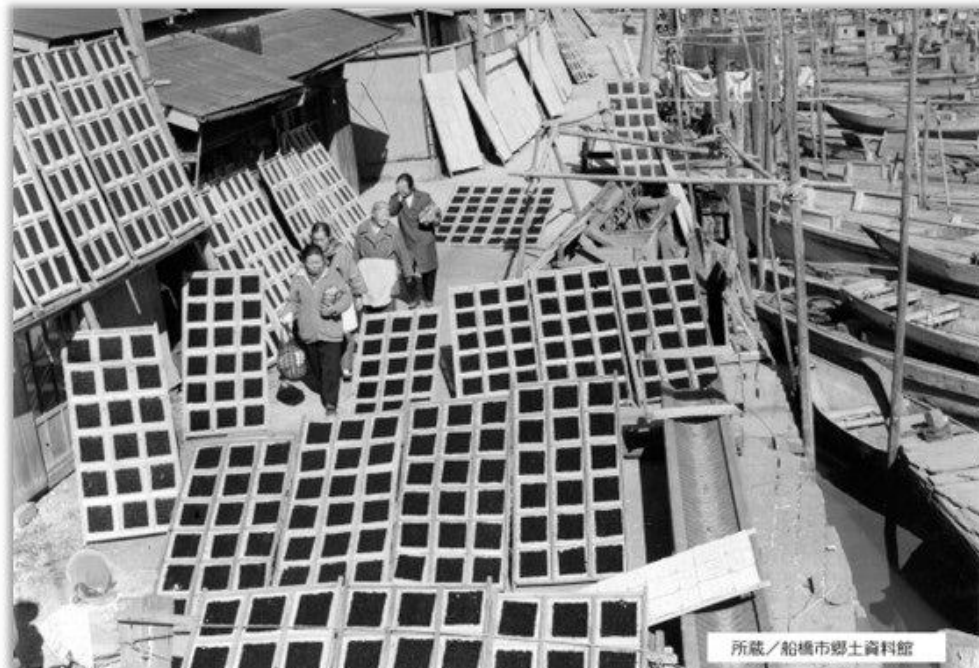




撮影／浜村元治 船橋市郷土資料館提供

海老川河口に広がる 豊かな海

江戸時代には将軍家に魚介を献上していた船橋の漁師たち。
海苔の養殖も盛んだった。その一方で、海の近くの人達は
半農半漁で暮らしを立てていた。



所蔵／船橋市郷土資料館

でも… 忍び寄る悲劇

大洪水時代、自然破壊の時代が
やってきた

**S30年代から海老川
水系に洪水が多発**



昭和59年 宮本1丁目・丸山橋 (写真／葛南土木事務所)



3 S59 7

← ↑ 洪水は年々激化。写真は昭和59年（1984年）7月の洪水。 床上浸水179戸、床下浸水608戸、道路冠水31カ所。 写真／海老川災害対策協議会

原因は「高度経済成長」だった

昭和30年代から始まった高度経済成長時代。
田んぼや緑地を埋め立て、宅地にしたり道路を造ったり。
「開発は善」と信じられていた。でもこれが洪水の原因に



昭和42年の習志野台団地。写真／船橋市郷土資料館

もはや
戦後ではない



国道357（湾岸道路）の建設。写真／首都国道事務所

市街化による洪水増加のメカニズム

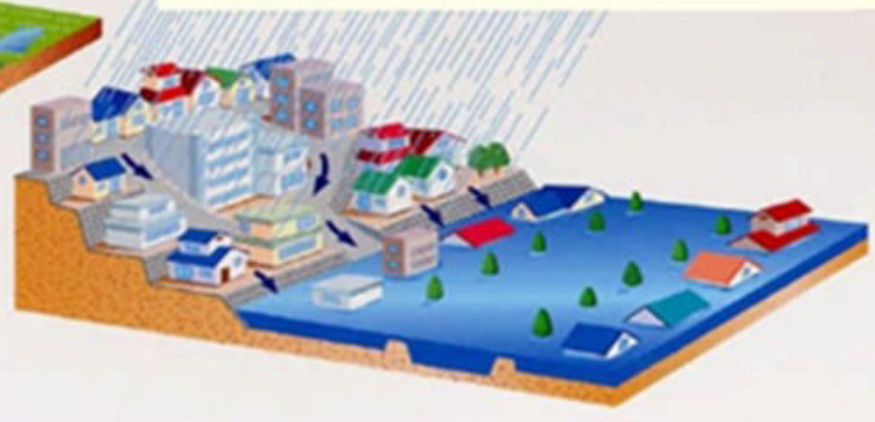
■開発が進んだ後

地表がコンクリートやアスファルトで覆われたり、森林や水田がなくなることにより、下流への流出が増大し、河川整備などが進まないと、低平地での氾濫被害が増加します。



■開発が進む前

雨水の大半は地中に浸透したり、水田に貯留され下流への流出は抑えられます。



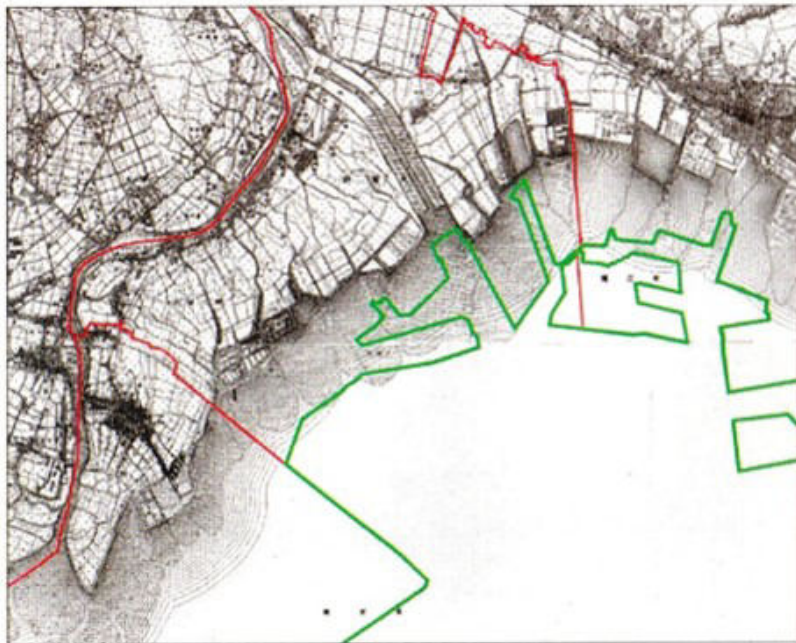
国土交通省「流域と一体となった
総合治水対策に関するプログラム」より

海の悲劇

掘り返され、埋め立てられた海

干潟や海底の湧水が消滅。海の環境が激変し、生き物たちの住処が奪われていった

三番瀬周辺の埋立地の推移



昭和20年の海岸線と現在の海岸線（緑）
『三番瀬』千葉県資料



写真／船橋市漁業協同組合

市・県・市民と一緒に治水にまい進！



大橋和夫 市長



昭和56年（1981年）
市民有志が**海老川災害対策協議会**を
結成

市、県、国に要望書や陳情書
頻繁に市と話し合い、様々な提案

長津川親水公園



改修なった長津川





堂本暁子知事

三番瀬 埋立て計画の白紙撤回を掲げる 堂本知事が当選

2001年

第2湾岸道路計画
もストップ



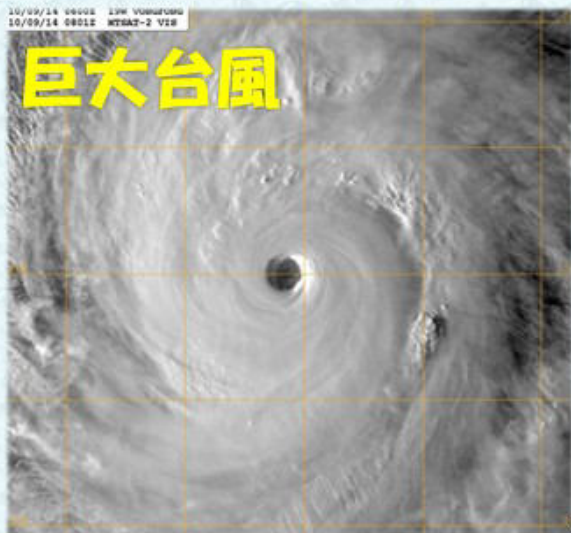
原動力は市民による反対運動。
30万人の署名を集めた



開発より環境を！



あれから30年...今直面する新たな危機



線状降水帯



地球沸騰化

雨量
1時間120ミ/



BREAKING NEWS 東京・大田区の一部でも

東京・品川区の一部に緊急安全確保



流域治水

もはや河川工事では洪水は
防げない
流域全体で水
を受け止める
治水



国が進める
新しい治水
よ



気候変動は船橋にも



2025年7、8月の猛暑日(船橋)

<7月>

33℃を超えた日数 16日
うち35℃を超えた日数 5日
最高気温 36.0℃ (7/29)

<8月>

33℃を超えた日数 22日
うち35℃を超えた日数 10日
最高気温 38.6℃ (8/30)



船橋史上6番目の総雨量

覚えていますか？ 2023年6月の豪雨

→飯山満川の水が濁流
となって海老川に流れ
込んでいる(両河川の
合流点の様子)。この
ような状態になる事は
滅多になかったのだが



←すっかり溢れてしまっ
た念田川(海老川上流)。
また、溢れた川の水を受
け入れている土地を遊水
地と呼ぶ

大丈夫か、海老川水系

海老川水系の排水能力

長津川	1時間50ミリ
海老川	30ミリ
飯山満川	30ミリ
その他の川	30ミリ以下



➡ 河川整備だけでは危ない。大量の水を溜められる遊水地（調節池）が必要！

迫りくる開発の嵐

川

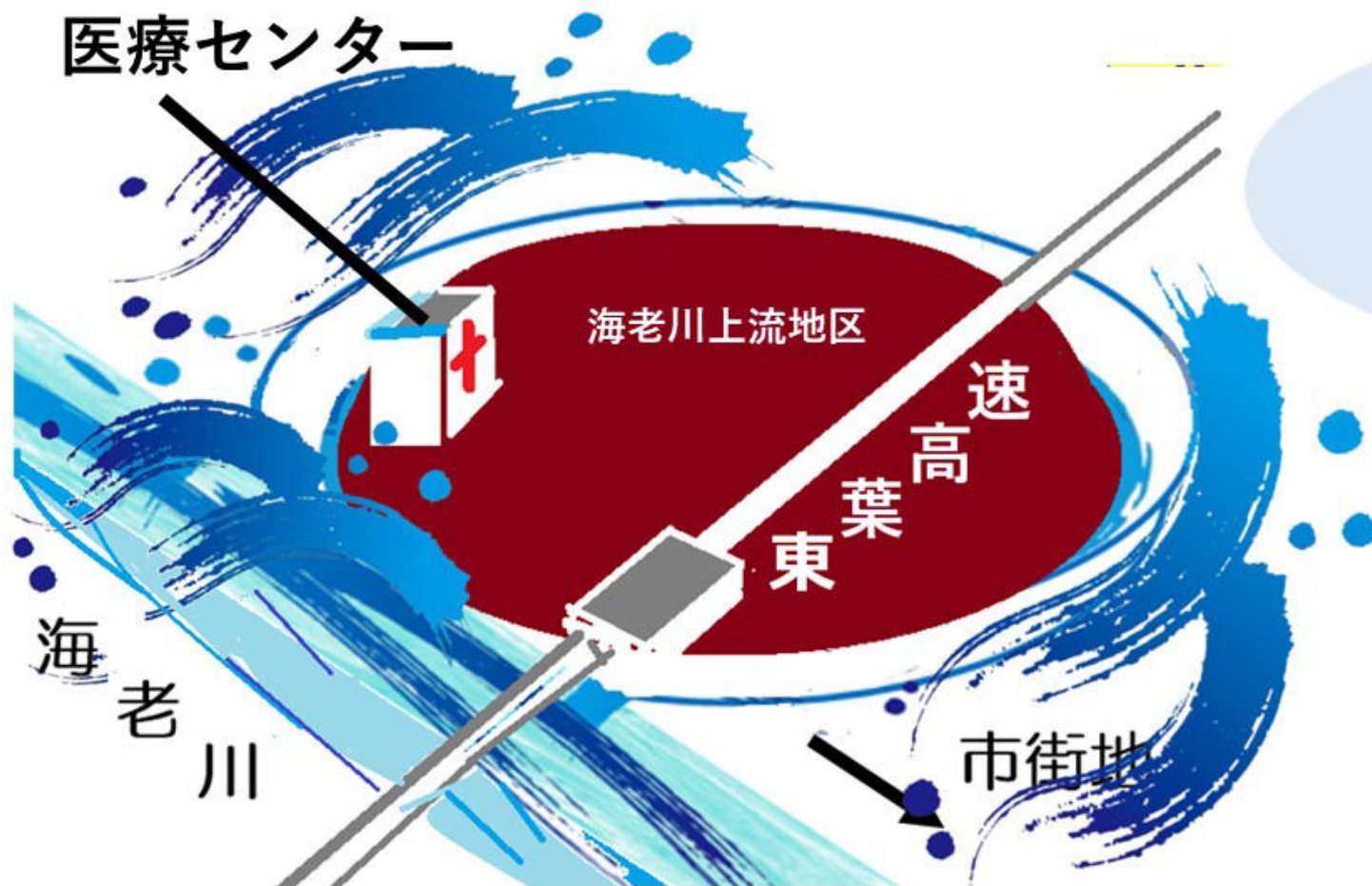
- ◆流域に新しい町をつくる
メディカルタウン構想

海

- ◆渋滞解消のために新しい道路をつくる
新湾岸道路計画

メディカルタウンで洪水の危機

市街化 + 気候変動（豪雨）のダブルパンチ



市街化され、お盆に流れ込んでいた雨水が、行き場を失って海老川に流れ込む。洪水になる

病院は安全な場所に

治水の要の海老川調節池もできていないのに、医療センターを海老川上流地区に移してはいけません

まるで「第2湾岸道路」。ゾンビのようによみがえった

新湾岸道路計画

外環・高谷JCT周辺～船橋経由～市原IC周辺 予定

第2湾岸道路の当初計画は、大規模に三番瀬を埋め立て、その真ん中に道路を通すものだった



1993年3月発表の三番瀬埋め立て計画 (740ha)

地図／千葉
国道事務所

地図／
中山敏則



船橋市の取り組み



「定期的に生き物調査を行っています。皆さんが参加できるものもありますのでぜひ」のこと。温暖化のせいで、生き物の生息地が北上していることも教えてくださいました。質問をすると熱心な職員が快く回答してくれます。

自然環境保全（環境政策課）

治水(下水道部)

浸水被害の変遷～市内全域の床上・床下浸水件数～

昭和53年7月8日
被害件数：1,494件
総降雨量：87ミリ
(1時間最大：70ミリ)

平成25年10月16日(台風26号)
被害件数：235件
総降雨量：285ミリ
(1時間最大：58.5ミリ)



船橋市ホームページ(風水害等の被害)の浸水被害件数により作成

海老川水系は千葉県海老川調節池工事が終わらないと、市管理河川の大規模改修ができない宿命。そのため？今印旛沼流域の駒込川の多自然川づくりを行っています。河川、下水とも、1時間50ミリの雨量対応に整備することが目標。八潮市の下水管事故を受けて全市の下水管調査も実施中。「異常は見つかっていません」。